

秀峰祭あすから一般公開

松本秀峰中等教育学校の文化祭「秀峰祭」は26、27日に一般公開される。作品展やステージ発表などで学習や部



校内装飾の準備に励む生徒

活動の成果を披露する。平成22年度の開校から6年目となり、1〜6年生の全学年がそれぞれ、映像を建物などに正確に投影して現実

離れた空間を見せる「プロジェクションマッピング」の技術を使う。生徒が自分たちで作ったコンピューターグラフィックスを教室の一つに投影して恐怖を演出する。

オーケストラ部は約70人の大編成で、シューベルト作曲の交響曲「未完成」や映画音楽などを披露する。会場は講堂で、26日は午後2時、27日は午前11時開演となる。

実行委員長の鶴見章君(16)は5年間は「普段は見られない、生徒一人一人の生き生きとした姿を見てほしい」と参加を呼び掛ける。

一般公開は26日が午前11時〜午後4時、27日が午前9時〜午後3時となる。(松田元樹)